
2009年度受賞者の成果報告（加藤直子）

- 最終更新日 (2011/08/17 Wednesday 19:15:51 JST)

柿内賢信記念賞研究助成金2009年度受賞者の成果報告奨励賞課題名：「科学研究機関一般公開日の来場者調査による文化的再生産モデルの検討」加藤直子総合研究大学院大学・先導科学研究科このたびは、柿内賢信記念賞奨励賞をいただき、心から感謝申し上げます。以下、成果についてご報告申し上げます。成果概要2009年10月に、公的科学研究機関の一般公開日の来場者に対して調査票を用いた定量的な調査を実施した。統計的分析を行い、研究をまとめ、学会発表をした。また、論文を執筆し、公刊された。学会発表本研究内容について、2010年8月に行われた第35回Society for Social Studies of Science (4S) 年次大会および第9回科学技術社会論学会で口頭発表を行った。Kato-Nitta, N.“Understanding the Public with the Concept of Cultural Capital through a Scientific Institute's Outreach Event”

The 35th Society for Social Studies of Science Annual Meeting, Tokyo University Komaba Campus, Tokyo, Japan, Aug.25-29, 2010.加藤直子「科学研究機関のアウトリーチ活動を用いた来場者の計量分析：文化資本と科学の消費行動の関連を中心に」第9回科学技術社会論学会年次大会、2010年8月 論文発表本研究内容についてPublic Understanding of Science誌に投稿し、2011年7月に公刊された。Kato-Nitta, N. “The Influence of Cultural Capital on Consumption of Scientific Culture: a survey of visitors to an open house event at a public scientific research institution” Public Understanding of Science, July 26, 2011, doi:10.1177/0963662511409509.